

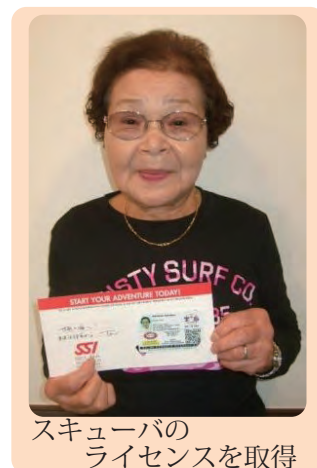
今回ご紹介させていただくのは、入居して一年六ヶ月になられる金子満志子さまです。

【長期にわたる介護の苦労】

私は夫の介護をして看送りました。介護の期間は長かった。主人は50代の頃より持病があり、少しずつ介護が必要になりました。80歳を過ぎた頃には身体自体が弱り、壊疽で片足を失いました。車椅子生活を余儀なくされ、透析も必要となり週に三回通院していました。思えば、透析をしているわずかな時間が自分の時間でした。プールに行く事もありましたが、気持ちはいつも張りつめていて、どこか世間の目を気にしたり、不安を抱えていました。88歳で亡くなるまでの約20年間は介護の為、心休まる時間はほとんどありませんでした。亡くなる二ヶ月前に入院となり、毎日病院へ通いつめました。主人が病院にいる事で「病院だから安心」と張りつめた気持ちを少しでも緩める事が出来ました。

【入居して知った自由な生活】

主人の実家は地元農家だったので、いつもどこかで近所や世間の目を気にして生活していたように思います。主人を看送った後、自分の人生を考えた時に世間の目を気にせずのびのび暮らせる場所を、と考えホーム入居を選択しました。地元横浜で探しましたが、私の思う低層で緑が豊かな施設には出会えませんでした。地方のホームも見ましたが、やはり『ここ！』という気持ちにはなれませんでした。そんな時、ふと思い出したのが昔のTVCM。芝生の庭園で体操しているご入居者の風景が印象に残っていたんです。すぐに104に問合せをして、施設へ連絡、見学会に参加しました。思い出したのが運命の出会いだったのね。低層2階建。空が広く、緑が多い。まさに私が考えていた所を見つける事ができました。ここなら周りを気にせずにのびのび生活が出来る、と直感しました。見学会に参加したときに10年以上生活されたご入居者から「ここはいい所よ、是非入居して」と言われたのも良かった。職員のいない場所で入居者がそう話すのだから、とても安心しました。入居後は生まれ変わった気持ちでいろいろなものにチャレンジし、自由な生活を楽しんでいます。



スキューバの
ライセンスを取得

【ゴルフもスキューバも始めた】

仲の良い入居者と近場にあるゴルフ練習場へ「ちょっといつてみようかしら」と興味本位で出かけたことがきっかけで、週一で練習場に通うようになりました。友人のご主人に「コースに出た方がうまくなる、おもしろい」といわれて、4/8にショートコースでデビューをしました。本コースに出られる日を目標に、今、頑張っていますよ。それから里で企画してくれたスキューバ体験教室に参加したことがきっかけで、その後自分でダイビングショップへ通うようになりました。ライセンスを取るためには潜るばかりではなく勉強も必要という事を知りました。でも孫に「一緒に沖縄へ行こうね」といわれて、頑張らなきゃと気持ちを奮い立たせて勉強しました。その甲斐あってライセンスも取得することができました。早く孫と一緒に沖縄で潜りたいわ。

【良き友人に恵まれて感謝】

普段は食堂やお部屋で数人の仲間と集まって晩酌会やお食事会などを楽しんでいます。ゴルフの打ちっぱなしに行ったり釣りに行ったりもします。人間関係で困った時もいろいろと相談に乗ってくれる、そういう丁度良い距離でお付き合いできる友人と出会えました。良き友人に恵まれたことで“ここで暮してゆく”と決意する事が出来ました。だから、やっぱり今が青春、「終末の青春」です。

元気でお出かけする金子様の姿をよくお見掛けします。そんな姿を目にすると、私もあきらめるよりチャレンジする気持ちを持ち続けたいと強く思いました。友に囲まれ、青春を楽しむ金子様の笑顔はとても晴れやかで素敵でした。



「お魚さんこんにちはっ」



良き友人たちと「かんぱ〜い♪」